

平成30年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月11日

上場会社名 TONE株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5967 URL http://www.tonetool.co.jp/
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)松村 昌造
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)井上 昌良 (TEL) 06-6649-5967
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第2四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第2四半期	2,609	△1.4	452	2.4	476	4.1	344	22.2
29年5月期第2四半期	2,647	2.0	441	△4.3	457	△3.8	282	△3.0

(注) 包括利益 30年5月期第2四半期 415百万円(55.6%) 29年5月期第2四半期 266百万円(0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第2四半期	167.41	—
29年5月期第2四半期	136.95	—

(注) 当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております、前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第2四半期	7,331	5,359	73.1
29年5月期	7,151	5,017	70.2

(参考) 自己資本 30年5月期第2四半期 5,359百万円 29年5月期 5,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	5.00	—	7.00	12.00
30年5月期	—	—	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております、平成30年5月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年5月期(予想)の1株当たり期末配当金は12円となり、1株当たり年間配当金は12円となります。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,260	8.2	1,150	△17.8	1,180	△16.9	720	△31.6	349.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております、平成30年5月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期2Q	2,342,600株	29年5月期	2,342,600株
30年5月期2Q	282,127株	29年5月期	281,733株
30年5月期2Q	2,060,622株	29年5月期2Q	2,061,044株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景として緩やかな景気回復基調で推移しましたが、欧米の政策不安や不安定な国際情勢などによる世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループは「『ボルディング・ソリューション・カンパニー』として社会の発展に貢献し、地球上になくはならない企業をめざす。」ことを企業理念に掲げ、「ボルト締結分野」においてお客様が求める価値を的確に捉え、「スピード感と一体感のある製品開発体制」を基軸に保有技術を有効的に活用し、「締付」をキーワードとした幅広い製品群の開発・製造・販売を推進し、より多くのお客様に「ボルト締結」に最適な手段を提供してまいりました。

併せて、デザインを一新した「次世代工具シリーズ」の拡販、主力製品「シャーレンチ」製品群及び充実のラインアップを誇る「ナットランナー」製品群の販売強化に加え、安全管理の要「トルク管理」製品群の売上拡大、さらにお客様要望に応えた特殊品対応を行うことによる市場の深堀りや新規市場開拓を図るなど売上高の伸長に懸命な努力をいたしました。

さらに、「TONEブランド戦略」として、モータースポーツを応援することを通じて、より多くの人々に工具の魅力伝えることを目的に、レーサーサポートやレース協賛などを積極的に展開するとともに、現場の声に耳を傾け研究・開発に活かすことで、製品およびサービスの更なる進化と飛躍を目指すなど、新たなTONEの可能性を追求してまいりました。

その結果、作業工具類の売上高は、販促活動を幅広く展開するなど営業力の強化を行い15億6千9百万円となりました。機器類の売上高は、建築土木関連における計画のずれ込みなど本格的な解消には至らず、10億4千万円となりました。

従いまして、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は26億9百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

また、利益面では営業利益は4億5千2百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益は4億7千6百万円（前年同期比4.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千4百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

各セグメントの概要は、次のとおりであります。

国内におきましては、作業工具類の売上に関しては、「TONEブランド戦略」を背景に、新製品群の積極的な販売や購買意欲を高める様々な企画・販売を展開し、売上高伸長に懸命な努力を行い、機器類の売上に関しても、建設土木関連における工期の遅れ等が見られる中、様々な分野においてのお客様要望に対応した製品群を取り揃え、拡販活動に懸命な努力を行った結果、売上高合計は21億3千5百万円となり、前年同期を上回りました。その内訳は、西日本全体が10億6千6百万円（前年同期比1.6%減）、東日本全体が10億6千8百万円（前年同期比11.3%増）でありました。

しかしながら、海外におきましては、売上の鈍化は依然として解消されない中、北米市場、中国、東アジア市場における売上も未だ回復の兆しが見られず、輸出合計は4億7千4百万円（前年同期比21.4%減）となり、前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は73億3千1百万円となり前連結会計年度末に比べ1億8千万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の減少5千3百万円、受取手形及び売掛金の減少7千4百万円等がありましたが、商品及び製品の増加2億2千5百万円、投資有価証券の増加1億1百万円等によるものであります。

(負債)

負債合計は19億7千1百万円となり前連結会計年度末に比べ1億6千1百万円減少しました。この主な要因は、短期借入金の増加2億6千9百万円等がありましたが、未払法人税等の減少1億1千万円、支払手形及び買掛金の減少1億3千3百万円、賞与引当金の減少9千9百万円、長期借入金の減少9千4百万円等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は53億5千9百万円となり前連結会計年度末に比べ3億4千2百万円増加しました。この主な要因は、剰余金の配当7千2百万円等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益3億4千4百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加7千万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績予想につきましては、平成30年1月11日発表の「平成30年5月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期の業績予想につきましては、平成29年7月13日発表の連結業績予想に変更はありません。

業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,836	328,758
受取手形及び売掛金	1,451,943	1,376,996
商品及び製品	1,172,173	1,397,877
仕掛品	527,992	501,592
原材料及び貯蔵品	877,752	879,263
繰延税金資産	70,657	40,627
その他	40,417	29,097
貸倒引当金	△4,660	△4,940
流動資産合計	4,518,113	4,549,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	587,391	610,354
機械装置及び運搬具(純額)	142,137	142,069
工具、器具及び備品(純額)	21,093	25,684
土地	781,509	832,725
リース資産(純額)	20,779	16,880
建設仮勘定	29,845	11,991
有形固定資産合計	1,582,756	1,639,705
無形固定資産		
リース資産	6,644	5,455
その他	61,350	54,163
無形固定資産合計	67,994	59,619
投資その他の資産		
投資有価証券	702,109	803,873
その他	280,244	278,939
貸倒引当金	△117	△0
投資その他の資産合計	982,236	1,082,812
固定資産合計	2,632,987	2,782,136
資産合計	7,151,101	7,331,410
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	723,170	589,622
短期借入金	231,090	500,460
リース債務	10,800	10,800
未払法人税等	220,354	110,032
賞与引当金	105,318	5,899
役員賞与引当金	29,500	-
未払金	151,817	119,083
未払費用	49,587	111,299
その他	16,443	16,037
流動負債合計	1,538,082	1,463,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
固定負債		
長期借入金	241,927	147,828
長期未払金	19,013	14,404
リース債務	17,987	12,587
繰延税金負債	171,919	206,284
退職給付に係る負債	138,689	121,030
資産除去債務	3,780	3,780
その他	2,400	2,700
固定負債合計	595,717	508,614
負債合計	2,133,799	1,971,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	605,000	605,000
資本剰余金	163,380	163,380
利益剰余金	4,305,547	4,578,387
自己株式	△371,252	△372,153
株主資本合計	4,702,676	4,974,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,430	375,141
為替換算調整勘定	10,194	9,804
その他の包括利益累計額合計	314,625	384,945
純資産合計	5,017,301	5,359,560
負債純資産合計	7,151,101	7,331,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
売上高	2,647,497	2,609,844
売上原価	1,546,429	1,477,051
売上総利益	1,101,068	1,132,792
販売費及び一般管理費	659,240	680,185
営業利益	441,828	452,607
営業外収益		
受取利息	21	282
受取配当金	13,302	13,015
為替差益	174	4,545
その他	3,394	7,632
営業外収益合計	16,894	25,476
営業外費用		
支払利息	1,576	1,448
その他	1	535
営業外費用合計	1,578	1,983
経常利益	457,144	476,100
税金等調整前四半期純利益	457,144	476,100
法人税、住民税及び事業税	133,242	97,788
法人税等調整額	41,634	33,342
法人税等合計	174,876	131,130
四半期純利益	282,268	344,970
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,268	344,970

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	282,268	344,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,058	70,711
為替換算調整勘定	△50,348	△390
その他の包括利益合計	△15,289	70,320
四半期包括利益	266,978	415,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,978	415,290
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	457,144	476,100
減価償却費	55,389	46,885
為替差損益(△は益)	△2,194	5,330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	97	162
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△14,761	△17,659
賞与引当金の増減額(△は減少)	△99,451	△99,418
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,500	△29,500
受取利息及び受取配当金	△13,324	△13,297
支払利息	1,576	1,448
売上債権の増減額(△は増加)	1,312	74,825
たな卸資産の増減額(△は増加)	△124,198	△201,022
仕入債務の増減額(△は減少)	23,904	△133,326
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,879	△4,474
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,468	△4,562
その他	112,599	57,547
小計	356,245	159,038
利息及び配当金の受取額	13,324	13,297
利息の支払額	△1,477	△1,474
法人税等の支払額	△184,004	△202,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	184,089	△32,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△69,020	△113,936
投資有価証券の売却による収入	1	-
ゴルフ会員権の取得による支出	△3,414	-
保険積立金の積立による支出	△1,235	△1,049
その他	42	1,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△73,626	△113,707
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	300,269
長期借入金の返済による支出	△137,410	△124,729
配当金の支払額	△71,771	△71,750
リース債務の返済による支出	△10,677	△5,400
長期未払金の返済による支出	△12,362	△4,609
自己株式の純増減額(△は増加)	△220	△901
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,441	92,878
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,632	△122
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	71,388	△53,077
現金及び現金同等物の期首残高	410,554	381,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	481,942	328,758

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年6月1日 至 平成28年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,083,822	959,849	603,826	2,647,497	—	2,647,497
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	23,845	—	23,845	△23,845	—
計	1,083,822	983,694	603,826	2,671,343	△23,845	2,647,497
セグメント利益	216,147	99,260	136,458	451,866	△10,038	441,828

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

② 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	西日本	東日本	海外	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,066,906	1,068,214	474,723	2,609,844	—	2,609,844
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,548	—	—	6,548	△6,548	—
計	1,073,454	1,068,214	474,723	2,616,392	△6,548	2,609,844
セグメント利益	198,506	181,546	75,388	455,441	△2,833	452,607

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。